

令和6年度

# Forest Style ナビゲーター

## 養成講座

オンライン(ZOOM) 全3回



あなたが見つけた、  
森や森に関わる人・暮らしの魅力について、  
自信をもって作文でできるようになりませんか？



2024

9月25日(水),

10月1日(火)・11日(金)

十 振り返り交流会 11月~12月頃 東京某所で宴を予定(実費)

地域における森と共にある暮らしのスタイル「Forest Style」。森林サービズ産業をはじめとした、森との関わりを地域を超えてみんなで共有し、知恵を出し合いながらビジネスとしても育てていくために始められました。

本講座ではNPOグリーンズからスズキコウタさん(共創編集マネージャー)をお招きして、「あなたにしか書けない記事」を書くための企画・作文・編集技術を学びます。

参加費 1,000円

定員 20名

# Schedule

## 開催スケジュール

### 第1回 9月25日(水) 19:00～21:00

#### 「作文」講座のための森ネタ合わせ with「Forest Style.jp」

各地域から参加する仲間と出会い、自分の地域の森、興味のある森、森に関わる人や取り組みについてそれぞれの情報を交換します。グループで記事の執筆を開始するための準備を整えます。

案内人 藤田 侑希 (事務局 / Forest Style.jp)  
矢島 万理 (事務局 / Forest Style.jp)  
赤池 円 (編集者 / Forest Style.jp/私の森.jp)

### 第2回 10月1日(火) 13:30～17:30

#### 「作文」講座 with グリーنز ① 企画～みんなで記事を書く

greenz.jpの人気講座「作文の教室」をForest Styleナビゲーター用に構成しました。テーマを決めてグループで一つの記事を執筆します。

案内人 スズキコウタ (NPOグリーンズ共創編集マネージャー)  
水野 淳美 (ライター /greenz.jp)

### 第3回 10月11日(金) 13:30～16:30

#### 「作文」講座 with グリーنز ② 記事の校正をして、みんなで仕上げる

第2回で執筆を開始した記事を最後まで書きあげます。執筆後は他のグループの参加者や、プロの編集者による校正の実演を受けて、記事の完成を目指します。

案内人 スズキコウタ (NPOグリーンズ共創編集マネージャー)  
水野 淳美 (ライター /greenz.jp)

#### greenz.jpとは

WEBマガジン「greenz.jp」は「生きる、を耕す。」ための実践WEBマガジン。2006年7月に創刊し、日本全国、世界各地の事例を取材し、誰でも読める記事として発信しています。累計7000本の記事を公開しています。

お問い合わせ (公社)国土緑化推進機構 藤田 矢島  
Mail: entry@green.or.jp

詳しくはコチラ 人と森と。フォレストスタイル ForestStyle.jp  
https://forest-style.jp/

## こんな人の参加を待っています!

#### オンライン講座に3回とも参加できる方

- 自分の関わっている森や地域について書きたいことがある方
- 森づくりや地域づくりに関わっていて情報発信について模索している方
- Forest Style.jpに記事を載せてみたい方

#### ●参加条件

zoomやGoogleドライブ、slackなどのWebツールを使って受講できる方(サポートします)

FAQは  
コチラ



## 事前宿題

- 紹介ビデオを視聴すること「Greenzとは」
- 配布資料を読んでおくこと「Forest Styleとは」
- 自分の地域の森、興味のある森、森に関わる人や取り組みについて伝えたいことをまとめたシート(企画書)の作成(フォーマットは事前にお送りします)

## 修了生のコメント

自分が関わる森のことをたくさんの人に知ってほしいけれど、どうやって紹介したら良いかわからず困っていた時にこの講座と素敵な仲間に出会い、仲間と協力して文章を作り上げていく行程を体験させていただき、素敵な記事が生まれました!

講座を受ける前は、ライターは1人で黙々と作業するイメージでしたが、今回の講座で、みんなで協力して1つの記事を練り上げる楽しさを知ることができました。普段なかなか出会えない、森林や環境の分野で活躍している仲間を探している方にも大変おすすめです。

「森×情報発信」。こんなコミュニティを待っていました!みんなでひとつの記事に向き合って作り上げていくことで、自分にはない視点に気づくことができたり、文章を書くことへの自信にもつながりました。

「事実を羅列しただけの味気ない表現でなく、自分が感じた現場の空気も伝える記事を作れるようになりたい!」と思い、前年度の講座を受講しました。一緒に受講した皆さんと、協力して記事を仕上げるWSもあり、楽しみながら技術を身につけることができました。

お申し込みはこちら▶▶

<https://forms.office.com/r/7hY2yVLXCC>

